

2009年2月6日

各 位

 会社名 **日神不動産株式会社**

代表者の役職名 代表取締役会長兼社長 神 山 和 郎

(コード番号：8881 東証第一部)

問い合わせ先 取締役兼執行役員専務 藤 岡 重三郎

電話番号 03 - 5360 - 2011

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年10月31日に公表した、平成21年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

・業績予想について

1. 平成21年3月期 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	34,650	100	220	1,410
今回修正予想 (B)	30,600	3,880	4,000	5,500
増減額 (B - A)	4,050	3,780	3,780	4,090
増減率 (%)	11.7			
前期実績 (平成20年3月期)	40,447	2,974	2,794	1,344

2. 平成21年3月期 個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	28,060	220	420	1,530
今回修正予想 (B)	24,140	4,100	4,300	5,600
増減額 (B - A)	3,920	3,880	3,880	4,070
増減率 (%)	14.0			
前期実績 (平成20年3月期)	33,437	2,518	2,320	758

○ 連結業績

個別業績の修正に加え、連結各社の業績予想を加味して修正しております。

○ 個別業績

不動産業界は、急速に進んだ世界的な景気後退の影響を受け、消費者の買い控えや金融機関の不動産融資に対する慎重な姿勢等が引き続いたことにより、業界全体の業績悪化が顕在化しました。

このような状況下にあつて当社のマンション分譲事業は、前期在庫物件の個別販売と平行して、新規完成物件の販売を行いました。特に前期在庫物件において販売に時間がかかるものが多く、今回の売上高修正となりました。

利益につきましては、販売物件の利益率低下に加え、棚卸資産の評価基準に基づき、第3四半期に新たに評価損2,096百万円を原価算入しました。

更に繰延税金資産を取り崩したことにより今回の修正となりました。(既に、第2四半期までに評価損1,101百万円、固定資産の減損処理574百万円及び貸倒引当金135百万円を含め特別損失996百万円を計上しております。)

尚、当期純損失の予想額5,600百万円は、平成20年3月期の純資産額37,498百万円の14.9%に相当します。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しとなっております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

・平成 21 年 3 月期 配当予想の修正

1. 修正の内容

基準日	1 株当たり配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期末	年間
前回発表予想		1 5 円	1 5 円
今回修正予想		5 円	5 円
当期実績			
前期実績 (平成 20 年 3 月期)		1 5 円	1 5 円

2. 修正の理由

当社は 2000 年 (平成 12 年) の上場以来、安定的な配当の継続を心がけ、平成 17 年 3 月期の決算期変更時 (6 ヶ月決算で 10 円配当) を除き、期末配当 1 5 円を継続してまいりました。

この間、2 度の株式分割時にも 15 円配当を据え置きましたので、上場時から見ますと実質的には約 2 倍の配当となっております。

しかしながら、前頁に記載いたしましたとおり、急速な景気後退の影響を受け、平成 21 年 3 月期の業績予想は赤字決算となる見通しでございます。

当社の配当方針及び業績見通し等を総合的に検討させていただきました結果、誠に遺憾ではございますが、期末の配当を 1 0 円減配し、5 円とさせていただくことといたしました。

株主の皆様には何卒、ご理解と引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

・株主優待制度について

当社は、従来から以下の株主優待制度を導入しておりますが、今期末におきましても継続して行うことといたしました。

制度内容

毎年 3 月 31 日現在の株主名簿に記録された単元株式数 (100 株) 以上保有の株主様に、自社分譲マンションの分譲価格 (消費税を除く定価) の 1 % を割引する「株主ご優待券」と一律 2,000 円相当額の「図書カード」を贈呈いたします。

以 上